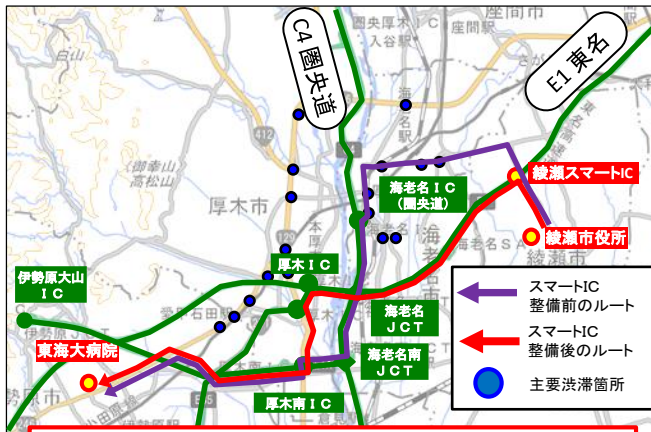


(2) 救命救急センターへの速達性の強化と大規模災害時の防災力の向上

【救命救急センターへの速達性の強化】

○ 東海大学医学部附属病院及び昭和大学藤が丘病院までの所要時間が大幅に短縮され、**周辺住民への救命体制の強化**が図られます。

〔綾瀬市役所から東海大学医学部附属病院への所要時間が短縮〕



綾瀬市役所から東海大学医学部附属病院への所要時間

綾瀬スマートIC整備前(海老名IC経由)

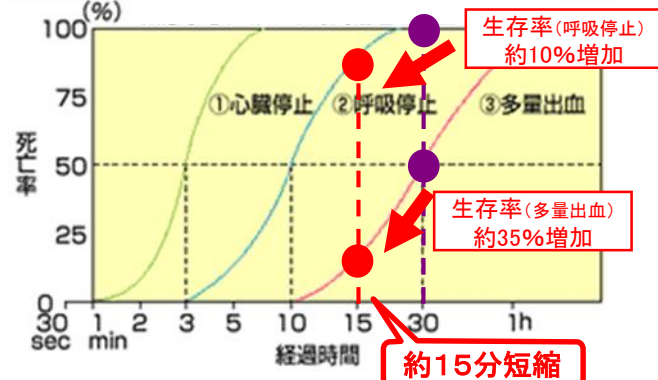
約30分

綾瀬スマートIC整備後

約15分

約15分短縮

緊急事態における時間経過と死亡率の関係



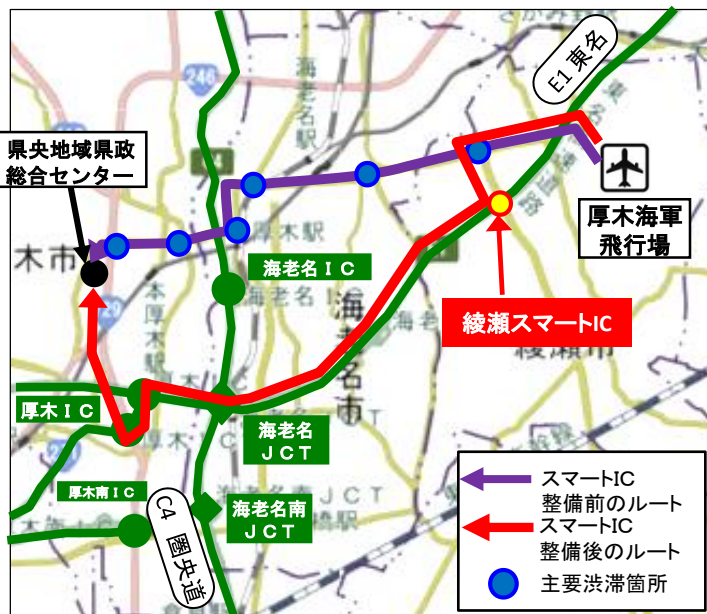
搬送先	令和元年搬送件数	令和2年搬送件数
東海大学医学部附属病院	73	42
その他	4,037	3,534

資料: 綾瀬市消防本部調べ

【大規模災害時の防災力の向上】

○ 緊急輸送道路である東名高速道路に、この地域の「玄関口」が設けられ、災害時の**広域物資輸送拠点**である**厚木海軍飛行場(海上自衛隊厚木航空基地)**から、防災拠点となる**県央地域県政総合センター**まで、迅速、かつ、**効率的な避難や、救命・救急活動、物資の運搬が可能**となり、**大規模災害時の防災力の向上**が図られます。

〔厚木海軍飛行場から防災拠点となる県央地域県政総合センターまでの所要時間が短縮〕



厚木海軍飛行場から県央地域県政総合センターへの所要時間

綾瀬スマートIC整備前(一般道)

約30分

綾瀬スマートIC整備後

約20分

約10分短縮



【震災時の緊急通行車両のイメージ】